

的場議員（民主県政会）

令和3年2月25日

教育長 答弁実録

（教育委員会）

（問）特別支援学校におけるアレルギー対応食について

給食を提供している特別支援学校において、医師や給食調理現場等との連携の下、アレルギー代替食の対応を前向きに検討してほしいが、今後の取組について、教育長に伺う。

（答）

学校給食における食物アレルギー対応につきましては、全ての幼児児童生徒が給食の時間を安全に、かつ、楽しんで過ごせるようにすることが重要であると考えております。

各特別支援学校におきましては、これまでも、幼児児童生徒の障害の状態等に応じて、きざみ食やペースト食などの再調理をしたものや、アレルギー対応食としての除去食や代替食などを提供しているところでございます。

しかしながら、学校の調理場の設備状況や調理スペース、あるいは限られた時間でこれらの多様な形態の給食を調理しなければならないという制約もあり、食物アレルギーのある全ての幼児児童生徒に除去食は提供できているものの、代替食を提供することが困難な学校も一部ございます。

県教育委員会といたしましては、今後も、安全な給食が提供できるよう、保護者から家庭における食生活の状況など詳細な情報を収集し、幼児児童生徒の状態を正確に把握するとともに、献立内容を工夫するなどして可能な限り食物アレルギー対応に努めてまいります。